

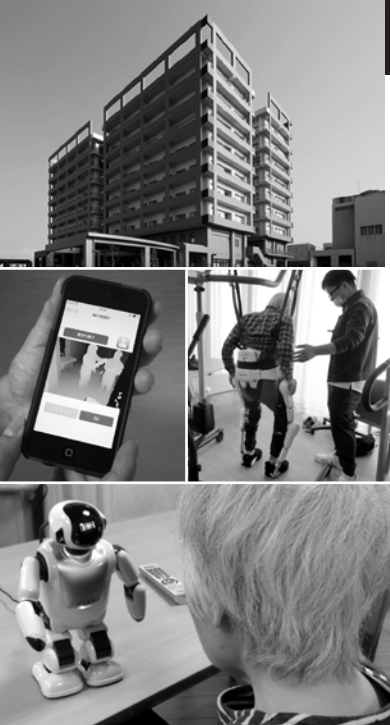
注目を集めるロボット・ICTを活用した[介護テック(介護テクノロジー)]。業務効率アップ・介護負担軽減・離職抑制・他施設との差別化など…、介護テック導入によるメリットや、実際に効果を上げるための運用手法から、社会福祉法人としての先進的な経営戦略の構築手法までを徹底研究!

(社福)善光会(サンタフェ ガーデンヒルズ)から学ぶ

「介護テック」導入[視察研究]

介護ロボット／ICT／IoT導入の先進事例

- I. 介護テックの最新動向と効果的な活用方法—(公財)テクノエイド協会
- II. 介護業務の負荷25%削減&社福の先進的経営戦略——(社福)善光会



ご 案 内

近年、ロボットやIT技術を駆使して介護現場の改革を図る(介護テクノロジー(介護テック))の普及を国が積極的に推進しています。

未だ黎明期にある介護テックの導入には、「費用対効果」「経営者とスタッフの意識の差」「人材教育」「現場ニーズとメーカーのシーズの乖離」「リスクマネジメント」など、さまざまな課題が見受けられますが、それらの課題を把握・解決し、より効果的に機器を運用することで、「介護サービスの質向上」「労務軽減」「離職率抑制」「人材募集」など、多くのメリットを実現している先進施設が登場しています。慢性的な人手不足に悩む介護事業において、業務を効率化し、限りある人材を効率よく活用していくことは、事業を継続させていくうえで必須となるでしょう。

本セミナーは、介護ロボットを含めた福祉用具の普及促進を行なう(公財)テクノエイド協会に最新動向を解説いただいたうえで、業界に先駆けて介護テックを導入し、高い効果を実現させるなど、先進的な経営を行なう(社福)善光会に、導入機器の選定から効果的な運用ポイントなどを、「サンタフェ ガーデンヒルズ」の視察を通して学んでまいります。

介護テックの導入による効果的な経営を目指される社会福祉法人・民間介護事業者、ならびに医療法人の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 2017年8月30日(水)13:00 ~ 17:00

講演 & 視察会場 サンタフェ ガーデンヒルズ

東京都大田区東糎谷6-4-17

TEL 03-5735-0123

詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参加費 43,200円(1名様につき)

(消費税及び地方消費税3,200円を含む)

●同一申込書にて2名様以上参加の場合

38,880円(1名様につき)

(消費税及び地方消費税2,880円を含む)

テキスト代含む

主 催 総合ユニコム株式会社

シニアビジネスマーケット

Property

management

〒104-0031

東京都中央区京橋2-10-2 ぬ利彦ビル南館6階

TEL. 03-3563-0025(代表)

ダイレクトメールの送付先変更・中止をご希望者は、お手数ですが、封筒ラベルにご要件を記入の上、弊社企画事業部(FAX.03-3564-2560)迄ご連絡ください。

※弊社ホームページからも、本セミナーはお申込みいただけます!

<http://www.sogo-unicom.co.jp>

お申込み先 ▶ FAXフリーダイヤル ☎ 0120-05-2560

※FAXフリーダイヤル不通時はFAX.03-3564-2560迄おかけ直してください。

お問合せ先 ▶ 総合ユニコム(株) 企画事業部 TEL.03-3563-0099(直通)

参加申込書

「介護テック」導入[視察研究]

●会社名(フリガナ)

●貴社業種

●振込予定日(月 日)

●当日現金支払い希望…

●ご担当者名()

●所在地(〒)

TEL. ()

FAX. ()

●出席者名①(フリガナ)

●所属部署・役職名

●E-MAIL

●出席者名②(フリガナ)

●所属部署・役職名

●E-MAIL

0-0320170805-050

お申込み方法

- ・左記「参加申込書」にご記入後、上記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証」「請求書」「銀行振込用紙」をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名刺1枚」と共にお渡し願います。
- ・開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

参加費のお支払について

- ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
- ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に印をご記入願います。

お申込者が参加できない場合について

- ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名刺1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

キャンセルについて

- ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名/氏名/電話番号/返金先銀行口座(振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560にて必ずご連絡ください。
- ・返金手数料として2,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

その他ご連絡事項

- ・お座席は受付順を基本に当りて指定させていただきます。
- ・会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、PC・携帯電話等の使用はお断りいたします。
- ・ご記入いただいた個人情報、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。なお、その際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねますので、予めご了承ください。

セミナープログラム&タイムスケジュール

13:00~14:00

I. 介護事業者が知っておきたい

〔介護テック(ロボット・ICT・IoT)〕の現状と活用法

1. 超高齢社会を取り巻く現状の課題

我が国の進むべき方向性

2. 介護ロボットに係る政府の取組み

政府が進める介護分野におけるロボット関連施策

- ・福祉用具・介護ロボット実用化支援事業(厚生労働省)
- ・ロボット介護機器開発導入促進事業(経済産業省)

未来投資戦略2017から考察した今後のあり方

3. 介護ロボットの役割と重要性

介護ロボット活用にあたっての基本的な考え方

利活用の徹底を図るための方策

4. 介護ロボットの導入や開発の事例

見守りロボットの活用事例から見る導入効果の検証等

14:15~15:45

II. 介護テックの効果的活用法と介護業務の負荷25%削減
——先進的経営を実践する社会福祉法人の取組みから

1. 善光会のこれまでの取組み

2. 介護ロボット・ICT・IoT機器の導入経緯

3. 効果測定の手法と目標設定の考え方

4. 業務効率削減の実際

5. メーカーとの共同実証実験

6. 「介護ロボット・人工知能研究室」の取組み

7. 人材教育

「介護ロボット専門士」の創設、「SE(システムエンジニア)」の採用

8. 現場での運用のポイント

9. 失敗例と解決策

10. 今後の課題

16:00~17:00

III. 視察研究 複合施設「サンタフェ ガーデンヒルズ」

■フローズ東靴谷 特別養護老人ホーム:160名/短期入所生活介護:20名/
通所介護:15名/認知症対応型通所介護:10名

■アクア東靴谷 介護老人保健施設:100名/短期入所療養介護 ※空床利用/
通所リハビリテーション:20名

■アミークス東靴谷 障害者支援施設:36名/短期入所:4名/生活介護:20名

■施設概要

[施設名] サンタフェ ガーデンヒルズ ※複合施設の総称

[開設日] 2007年4月1日

[定員] 入所定員320名/通所定員65名

[構造] 地下1階・地上10階建て/鉄筋コンクリート造

[面積] 敷地面積8,220.67㎡/延床面積16,332.17㎡



講師プロフィール



【第I講座】

五島 清国

(ごしま きよくに)

公益財団法人テクノエイド協会 企画部長

1988年に国立療養所岐阜病院に入職後、社会福祉・医療事業団(現:福祉医療機構)厚生省(現:厚生労働省)保健医療局を経て、93年より公益財団法人テクノエイド協会企画部に勤務。現在は厚生労働省介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会構成員、経済産業省日本機械工業連合会ロボット大賞審査・運営委員会委員、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)ロボット介護機器開発・導入促進事業審査委員、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)課題解決型福祉用具実用化開発支援事業研究評価委員会分科会委員を務める。

福祉用具・介護ロボットに関わる調査研究等を主に担当し、「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の実施や、「福祉用具情報提供システム」の運用、「障害者自立支援機器等開発促進事業」の実施、「補装具費支給制度への借受け導入に係る制度のあり方に関する研究」等を行なう。

【第II講座】

宮本 隆史

(みやもと たかし)

社会福祉法人善光会理事

最高執行責任者

統括施設局長

特別養護老人ホーム フローズ東靴谷 施設長



2007年社会福祉法人善光会入職後、特別養護老人ホームで介護職や現場のマネジメント業務に従事する。その後、グループホームの立ち上げや管理者を経て、新規に特別養護老人ホームを立ち上げて施設長に就任。現在、善光会が運営する施設の統括施設局長を務める。

09年より介護ロボットの導入や、サイバーダイン社のHALの監修に関わり、各メーカーの製品をどのように介護現場で活用するのかを研究する。13年善光会内に「介護ロボット研究室」を設置、介護施設自らが介護ロボットの研究開発を行なう取組みを推進する。16年に介護施設での人工知能の活用を目指し、「介護ロボット・人工知能研究室」に機能を拡張。現在は講演・セミナー講師などの活動も行なっている。総務省の標準的な医療介護データ活用推進委員会にも参画。